

第1回阪南地区薬薬連携研修会アンケート結果集計

日時：平成23年11月12日（土）15:00～17:00

場所：阪南市民病院 4階会議室

参加者：計30名（泉南薬剤師会26名・阪南市民病院 薬剤部4名）

【特別講演】薬剤師に求めるもの

阪南市民病院 院長 藤本 尚

- | | |
|----------------|-----|
| A よくわかった | 8名 |
| B だいたいわかった | 11名 |
| C ふつう | 3名 |
| D あまりよくわからなかった | |
| E わからなかった | |

感想

批判すべきところは遠慮なく言ってほしかった
医師と患者さんの会話を大事にしてほしい
話を聞いてくれない、立ったまま話をして終わりと云うのもある様です
患者さん側にたった診療の心がよいと思う
おもいやりの心を忘れずに言動に気をつけるようにしたいと思う。
医師から薬剤師への期待がよくわかりました。今後医師との連携に役立つようにしたいです。

【特別講演】薬剤部の紹介と今後の方針について

阪南市民病院・府中病院 薬剤部 副部長 野村 真美

- | | |
|----------------|-----|
| A よくわかった | 16名 |
| B だいたいわかった | 6名 |
| C ふつう | |
| D あまりよくわからなかった | |
| E わからなかった | |

感想

現場で育った知識の披露で久しぶりにすばらしい話が聞けました。
阪南市民病院の発展を期待しています
薬剤部の方針がわかり参考になりました
今後の市民病院に期待して、我々も努力をします
他科受診した際の重複チェックがなされる機能があればと思います
（イソジンガーグルが内科と胃腸科で処方される。ロキソニンとモービックが内科と整形で処方されるなど）

病院薬剤部の皆様のやる気に触発されました。

今までの講演とは違った迫力のある説明に吸い込まれよくわかりよかった

癌患者様への思いやりに感激しました。ゆったりしたベッドを使用している所は多いですが、プラスαに温かさを感じました。

阪南市民病院の取り組み方が患者への思いやり主体で非常に感銘を受けました。是非、薬局でも思いやりのある対応を取り入れようと思う。

今後企画して欲しい内容

一般市民への「くすりの正しい使い方」の知識を普及する為に薬剤師としてどう取り組むか、学校でのくすり教育も含めて討論し実行にうつす。

在宅医療での薬剤管理指導がなぜ進まないのか討論して解決する

検査値の見方、糖尿病、皮膚疾患、精神疾患

検査値の見方（2名）

検査値の見方・ワークショップ

薬剤部や医師の意向がわかる内容がありがたい

医師に話すことと、薬局にきて話すことが違うことが多々あり、府中病院では問題ないでしょうか？

医師に薬剤選択のプロセス、妊婦や授乳婦に薬を処方するかしないかの判断プロセス等を説明して頂けると助かります。

慢性疼痛、抗うつ剤、抗てんかん剤等のくすりの選び方

検査値について

検査値の活用法について教えて下さい。

病名を告げられない患者様への服薬指導

副作用が重大なものがある薬の服薬指導

コンコーダンスの現状と今後の取り組み方

それぞれの薬剤部で新しい機械や新しいシステムを導入することがあれば、定期的に情報交換する機会があれば良いと思う。

開催日について

火曜日 1名

木曜日 2名 18時から

金曜日 3名 19時から、19時半から、20時から

土曜日 17名 15時から9名、14時から2名、17時から1名

アンケートの記載ありがとうございました。

阪南地区薬業連携推進協議会にて皆様の御意見を次回の研修会開催への参考にさせていただきます。

次回の研修会は2012年3月頃を予定しています。引き続き御参加よろしくお願ひ致します。